マラウイ農村部の貧困層への就学前教育の普及を目指して

谷口京子

広島大学大学院人間社会科学研究科 教育科学専攻国際教育開発プログラム Email: tanikyo@hiroshima-u.ac.jp

本日の流れ

- I. 就学前教育の世界的な状況
- II. マラウイの小学校の子どもの実証分析
- III. 就学前教育と小学校の退学
- IV. マラウイの就学前教育の状況

I. 就学前教育の世界的な状況

就学前教育の必要性































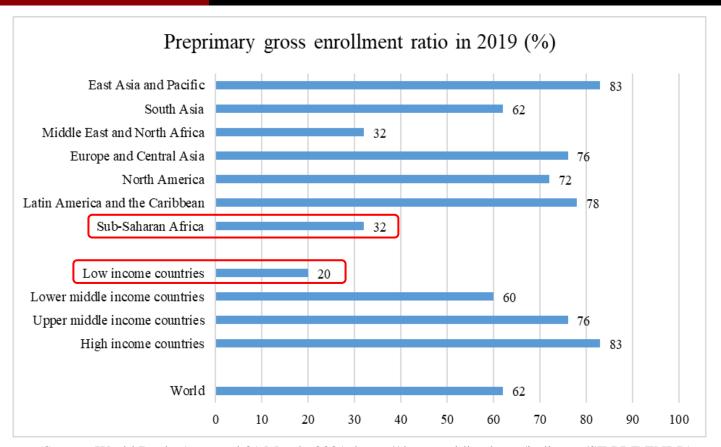






- 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)
 - 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
 - 7のゴール・169のターゲットから構成される。
 - 地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind) 」を誓っている。(参照:外務省SDGsとは? | JAPAN SDGs Action Platform | 外務省 (mofa.go.jp))
- 目標4「質の高い教育をみんなに」
 - 4.2 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達支援、ケアおよび就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

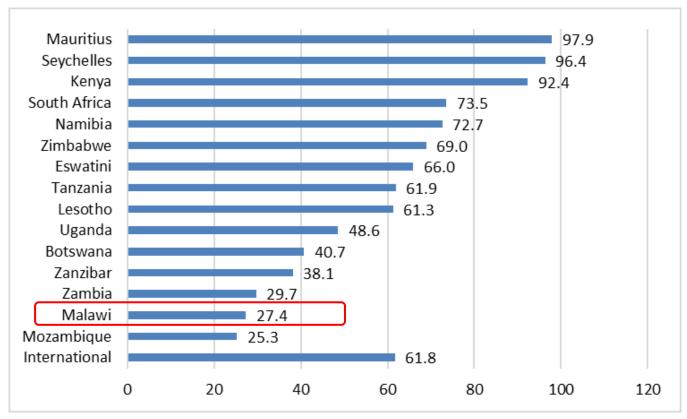
就学前教育の総就学率



(Source. World Bank, Accessed 31 March, 2021. https://data.worldbank.org/indicator/SE.PRE.ENRR)

■ サブ・サハラアフリカ地域の就学前教育の総就学率が 非常に低い。

サブ・サハラ地域における就学前教育 の就学率



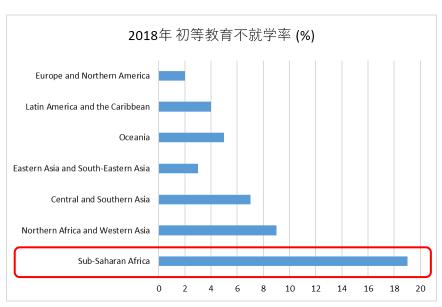
(Source. SACMEQIII in 2007)

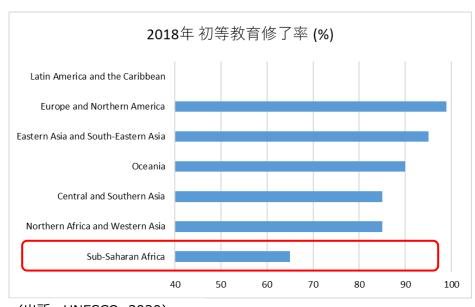
■ マラウイの就学前教育の就学率が非常に低い。

II. マラウイの小学校の子どもの 実証分析

研究の背景

■ SDG4.1: 全ての子どもが**基礎学力を習得**し、**初等教育を修了**する





(出所: UNESCO, 2020)

(出所: UNESCO, 2020)

■ サブサハラ・アフリカ地域の初等教育不就学率は19%、初等教育 修了率は65%であり(2018年)、他の地域比べて非常に低い (UNESCO, 2020)

マラウイの小学校における進級阻害要因

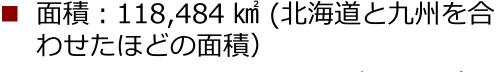
■ 研究の目的

マラウイ農村部の小学校において、**どのような学校のどのような子ども**が**小学校を卒業する**ことができないのか(できるか)を実証的に検証する。

- どのような学校のどのような子どもが**進級**するのか。
- どのような学校のどのような子どもが留年するのか。
- どのような学校のどのような子どもが**転校**するのか。
- どのような学校のどのような子どもが**退学**するのか。



マラウイの概要



■ 人口:19,431,566 (2021年1月現在)

■ 首都:リロングウェ

■ 独立:1964年(英国の植民地)

■ 言語:チェワ語、英語

■ 民族:チェワ族、ツンブカ族、トンガ族、ヤオ族、ンゴニ族など

■ 二ックネーム: "The Warm Heart of Africa"

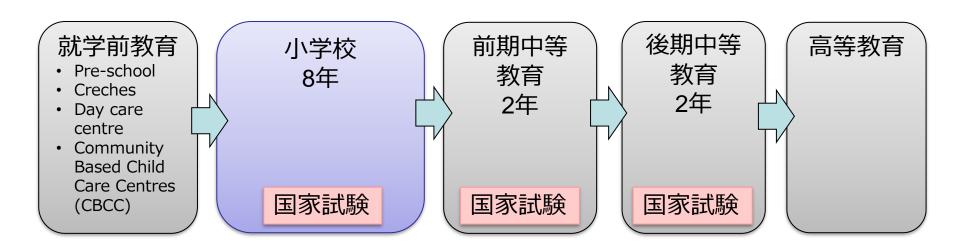
■ GNI: \$380 (日本: \$45,180)

■ 主要農産物:タバコ、砂糖、茶など

■ 85%の人々が農村部に居住



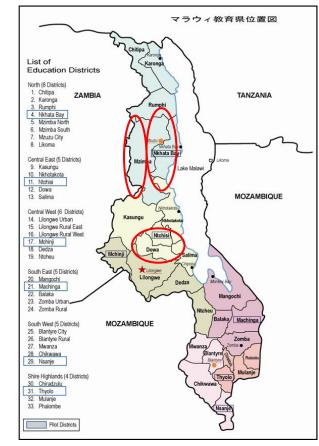
マラウイの教育



- 1994年初等教育の無償化が導入され、就学率が急激に向上した。
- 一方、マラウイの初等教育の残存率は5年生で64.5%、 最終学年の8年生で31.5%と非常に低い (MoEST, 2014)

調査の概要

- 調査地域:ドウワ県・ムジンバ県・ンカタベイ県
- 対象校:公立小学校28校
- 対象者:5年生2091名、7年生1547名、
- 校長28名、教員307名(2016年)
- ツール
 - チェワ語・英語・算数の学力テスト
 - 質問紙:個人・家庭・教室・学校要因
- データ収集方法:生存分析
- 調査時期
 - 第一次調査:2016年9~11月
 - 第二次調査:2017年9~11月
 - 第三次調査:2018年10~12月
 - 第四次調査:2020年1~3月



データ収集方法

- 前向きコホート研究:同じ生徒と学校を、一定期間(ある期間から未来に向かって)、観察を続けて集めた情報を基にして、その期間に起きた出来事(進級・留年・転校・退学)に関する調査を行う。
- <u>生存分析</u>:個人や集団の特定の性質や条件と起きた出来事(進級・留年・転校・退学)との関連について分析を行う。

フェーズ I

期間:3年

対象:1県(Nkhata Bay)の5年生と

7年生

事象:進級

2013年

2014年

2015年

フェーズ II | 期間:5年

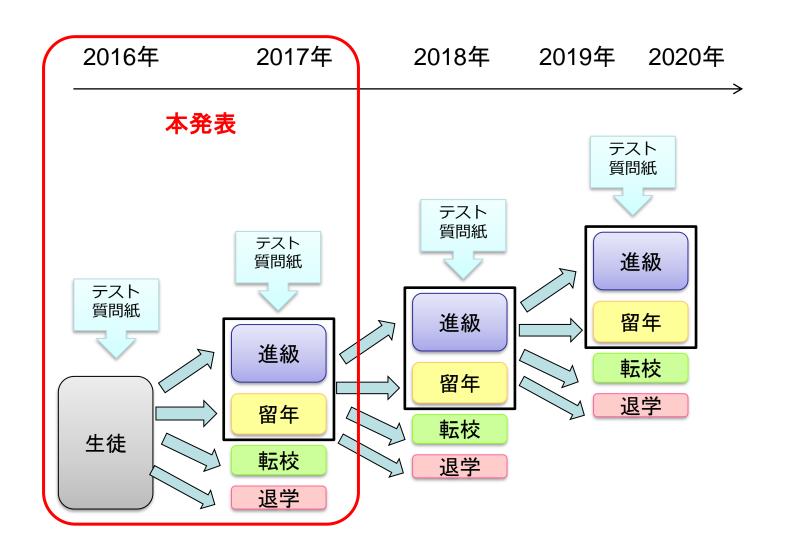
対象: 3県(Dowa, Mzimba, Nkahta Bay)

の5年生と7年生

事象:進級・留年・転校・退学

2016年 2017年 2018年 2019年 2020年

データ収集の方法と調査期間



本発表

フェーズII

■ 対象者:5年生2091名

■ 調査時期:

■第一次調査:2016年9~11月

■ 第二次調査:2017年9~11月

進級阻害要因の分類

個人レベル

個人要因

学力 性別

初等教育入学時の年齢就学前教育の経験

欠席日数

留年回数

転校回数

家庭要因

保護者の教育水準 家庭の経済状況 保護者の有無 就学時両親と居住 家事手伝い

学校レベル

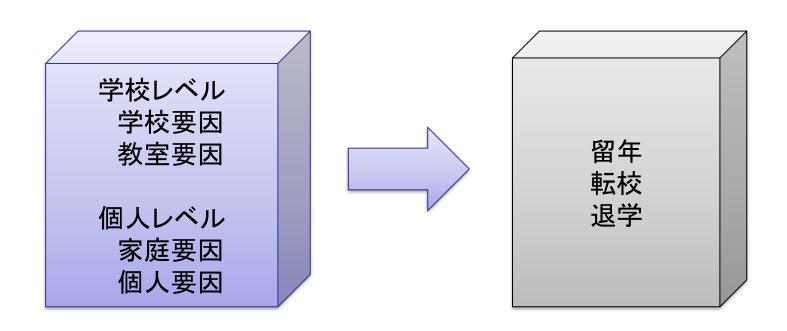
教室要因

教員の遅刻 教員の欠席日数 教員のクラス欠席 教員一人あたりの生徒数

学校要因

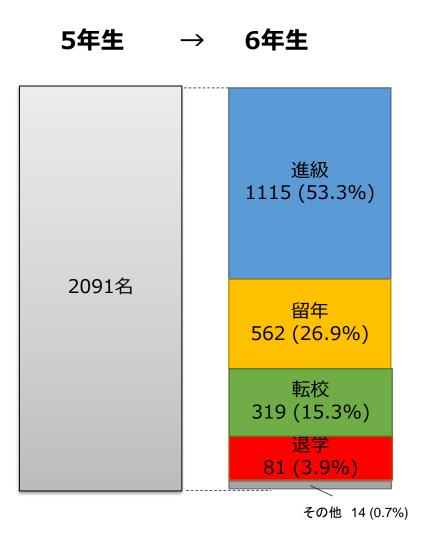
学校の位置 学校の設備

分析方法



- マルチレベル多項ロジスティク回帰分析
 - ■進級を基準とした

生徒の進級率・留年率・転校率・退学率



100% 3.15 3.26 4.88 90% 11.5 17.01 19.09 80% 21.84 70% 27.84 ■退学 60% 33.44 ■転校 50% ■留年 40% 61.79 30% ■進級 51.89 44.32 20% 10% 0% Mzimba Nkhata Bay Dowa 100% 90% 80% 70% 60% ■退学 50% ■転校 40% ■留年 30% ■進級 20% 10% 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10212223242526272811121314151617181920 学校

分析結果

// // // // // // // // // // // // //											
* 進級と比較して		留年			転校			退学		STI.	/
	Estimate	SE	OR Sig	Estimate	SE	OR Sig	Estimate	SE	OR Sig	当	<u>生</u>
個人レベル										•	学力
学力	-0.140	0.026	0.870 ***	-0.056	0.023	0.946 *	-0.079	0.029	0.924 **		
性別知等教会を受ける年齢質が良	0.237	0.194	1.267	-0.255	0.272	0.775	0.070	0.342	1.072	•	5年生0
初等教育入学時の年齢 くないと	0.038	0.035	1.039	-0.023	0.046	0.977	0.505	0.107	1.657 ***		年経験
就学前教育の経験 効果が	-0.047	0.109	0.954	-0.041	0.106	0.960	0.019	0.271	1.020		
欠席日数出ない	0.078	0.089	1.081	-0.026	0.128	0.974	0.166	0.150	1.180	±-	· 1 -/-
留年回数	0.112	0.077	1.119	-0.119	0.096	0.888	0.252	0.287	1.286	<u></u> <u> </u>	<u>校</u>
5年生の留年経験	-0.698	0.229	0.498 **	-0.068	0.220	0.934	0.212	0.303	1.236	•	学力
転校回数	-0.013	0.091	0.987	0.549	0.104	1.732 ***	0.451	0.170	1.570	•	両親無
保護者の教育水準	-0.005	0.045	0.995	0.016	0.050	1.016	-0.114	0.085	0.893	, The state of the	
家庭の経済状況	0.038	0.122	1.039	0.096	0.116	1.100	-0.077	0.214	0.926	•	転校回
両親有	-0.261	0.217	0.771	-0.490	0.215	0.613 *	-0.426	0.542	0.653		
どちらか一方の親有	0.444	0.415	1.560	-0.275	0.381	0.759	9.064	0.715	8634.890 ***	\Н	774
就学時両親と同居	-0.405	0.217	0.667	-0.243	0.290	0.784	0.411	0.517	1.508	<u>迟</u>	学
就学時どちらか一方の親と同居	0.196	0.306	1.216	0.134	0.389	1.143	-0.321	0.798	0.725	•	初等教
家事手伝い	0.000	0.060	1.000	0.016	0.070	1.017	-0.095	0.134	0.909		入学時
学校レベル											
教員の遅刻	0.000	0.301		-0.317	0.286		0.692	0.340	*		年齡
教員の欠席日数	0.104	0.291		0.015	0.202		-0.375	0.338		•	どちら
教員のクラス欠席	-0.130	0.235		0.173	0.226		-0.109	0.312			一方の
教員一人あたりの生徒数	-0.004	0.006		-0.004	0.004		0.003	0.008			
学校の位置	-0.415	0.284		-0.371	0.277		-0.290	0.501			有
学校の設備	0.166	0.116		0.009	0.078		-0.027	0.137		•	学力
学校レベル										•	教員の
Intercept	-0.948	0.144	***	-1.467	0.113	***	-3.830	0.225	***		
Variance											刻
Loglikeihood					-1113.8	866				-	
AIC					2359.7	32					
BIC					2692.8	369				_	
										-	

の留

- ѹ数
- 対育
- うか D親
-)遅

結論

進級と比べて、

- 留年は、<u>学力が低い</u>ことが大きな要因であり、5年生の 留年経験がないことで起こりやすい
- 転校は、**学力が低いや両親がいない**ことが要因であり、 過去の転校が多いことで起きやすい
- 退学は、**初等教育入学時の年齢が高いこと、どちらか一 方の親がいること、学力が低いこと、教員の遅刻が多い こと**が要因であった

III.就学前教育と小学校の退学

初等教育の入学年齢が高いとは・・・

初等教育入学時の年齢が高い

 入学時の年齢:6歳まで48.8%(3~5歳29.2%,6歳19.6%),7歳23.4%, 8歳15.4%,9歳以上12.5%であった

保護者と子どもの<u>適齢期</u>での<u>小学校入学準備</u>ができていない

入学準備

- **就学前教育の未経験**(就学前教育の未経験は46.5%, 2~3ヶ月のみの経験は23.0%であった)
- ・ 制服などの準備
- 子どもの身体の大きさと学校までの距離

就学前教育の経験と初等教育入学年齢

就学前教育の経験	3~5歳	6歳	7歳	8歳以上	合計
無	25.1	18.7	24.1	32.2	100
2~3ヶ月	33.3	18.5	23.6	24.6	100
1年	24.2	23.5	23.9	28.4	100
2年	40.6	26.1	20.0	13.3	100
3年	37.8	19.5	23.2	19.5	100

■ 就学前教育を2年以上経験すると、6歳までに入学する割合が高くなる。

就学前教育の経験と退学率

就学前教育の経験	追	学
170 J 133 JX 1 3 0 4 1 2 3 X	N	%
無	36	50.0
2~3ヶ月	20	27.8
1年	8	11.1
2年	2	2.8
3年	6	8.3
合計	72	100.0

■ 就学前教育の経験がない、2~3ヶ月の経験している小学校5年生の退学率は高い

就学前教育の経験と学力

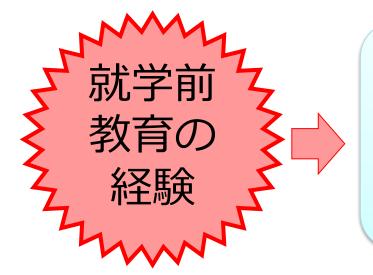
就学前教育の経験	テストの平均点			
無	15.0			
2~3ヶ月	15.7			
1年	15.4			
2年	16.6			
3年	17.1			

^{*} テストの満点30点(チェワ語10点、英語10点、算数10点)

■ 就学前教育を2年以上経験している小学校5年生の学力は 高い

提言

小学校入学 準備



適齢年齢で 小学校に入学



小学校での 退学率の減少 と学力習得

IV.マラウイの就学前教育の状況

マラウイの就学前教育の課題

■ 施設の不足

- 36~59ヶ月の子どものEarly Childhood Development (ECD)の就学率: 39.2% (National Education Sector Investment Plan 2020 – 2030, Ministry of Education and Technology: MoEST, 2020)
- 保育士の研修の不足
 - ■保育士のうち、約50%が研修を受けている。
- ECDのカリキュラムが実行されていない
 - ECDのカリキュラムはあるが、多くの施設では使用 されていない。

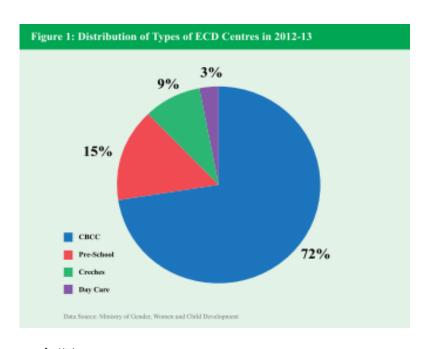
マラウイの就学前教育の施設

Public

- Community Based Child Care Centres (CBCC)
 - ドナーやNGOによって、建設 された施設
 - 授業料が無償

Private

- Pre-schools
- Crèches
- Day care centres
 - 授業料を徴収



(参照: Government of Malawi. 2014. Education Sector Implementation Plan II 2013/14 – 2017/18)

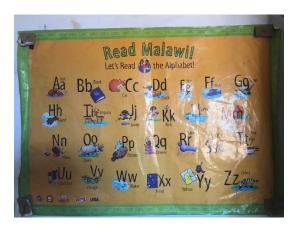
Pre-school (私立)





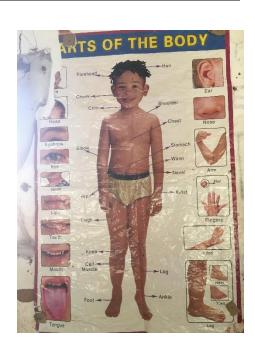












小学校に併設されているPre-school (私立)









ご清聴ありがとうございました